

# 講演一覧

【8月19日(水)】

時間	会場	種別	演題名	演者	リハ 単位	日整会 単位	運動器 単位
8:40~9:40	1	基調	活動を育むリハビリテーション医学の教育体制づくり	久保 俊一	○	13, Re	○
9:50~10:50	1	特別1	反復性経頭蓋磁気刺激療法を併用したリハビリテーション治療	安保 雅博	○	13, Re	○
11:00~12:00	1	特別2	神経筋疾患・脊髄損傷の呼吸障害とリハビリテーション医療	花山 耕三	○	8, 13, Re	○
12:10~13:10	1	ランチョン1	歩行練習支援ロボットの増強フィードバック (KRとKP)	才藤 栄一	○	13, Re	○
13:50~14:50	1	会長	リハビリテーション医学の未来に羽ばたく先端機器開発	島田 洋一	○	13, 1, Re	○
15:00~16:00	1	特別3	リハビリテーションロボットの開発と臨床応用	才藤 栄一	○	13, Re	○
16:10~17:10	1	特別4	脊髄損傷に対する自己骨髄間葉系幹細胞治療の実際と将来展望	山下 敏彦	○	7, S	○
17:20~18:20	1	特別5	我々が目指す脊髄再生医療とは	中村 雅也	○	7, SS	○
9:50~10:50	2	教育1	慢性疼痛の診断と治療に対する課題	紺野 慎一	○	13, Re	○
11:00~12:00	2	教育2	腰痛疾患に対する評価や治療の現状と未来	大島 精司	○	7, 13, SS	○
12:10~13:10	2	ランチョン2	下肢人工関節置換術後の疼痛とリハビリテーション療法	西坂 文章	○	13, 12, Re	○
15:00~16:00	2	教育3	腰部脊柱管狭窄症の病態と治療の最新知見	土井田 稔	○	7, 13, SS	○
8:40~9:40	3	教育4	ポリオに対する下肢装具療法	和田 太	○	8, 13, Re	○
12:10~13:10	3	ランチョン3 (予定)	リハビリテーションロボットの新たな展開 (調整中)	大畑 光司 (調整中)	○	-	○
15:00~16:00	3	教育5	脊椎・関節疾患に対する外骨格型ロボットを用いたリハビリテーション医療	山崎 正志	○	7, 13, SS	○
16:10~17:10	3	教育6	装着型サイボーグHALによるサイバニクス治療 ~ニューロリハビリテーション、国際展開、未来への取り組み~	山海 嘉之	○	13, Re	○
17:20~18:20	3	教育7	ロボティクスを活用したリハビリテーション医療	平野 哲	○	13, Re	○
9:50~10:50	4	教育8	肘関節のバイオメカニクスとリハビリテーション治療	稲垣 克記	○	9, 1, Re	○
11:00~12:00	4	教育9	手外科におけるリハビリテーション医療の重要性	岩崎 倫政	○	10, 13, Re	○
12:10~13:10	4	ランチョン4	臨床における三次元動作解析装置を活用した歩行分析の進歩と可能性	大塚 圭	○	13, Re	○
15:00~16:00	4	教育10	変形性足関節症の病態と治療	田中 康仁	○	12, 1, Re	○
17:20~18:20	4	教育11	小児股関節疾患の病態とリハビリテーション治療	稲葉 裕	○	3, 11, Re	○
12:10~13:10	5	ランチョン5	慢性腰痛に対する画像診断と治療	竹林 庸雄	○	7, SS	○
15:00~16:00	5	教育12	膝スポーツ損傷に対するリハビリテーション医療	黒田 良祐	○	12, 2, Re	○
16:10~17:10	5	教育13	膝前十字靭帯損傷の治療とリハビリテーション医療	山本 祐司	○	12, 2, Re	○
17:20~18:20	5	教育14	骨粗鬆症とリハビリテーション医療	宮本 健史	○	4, 13, Re	○
8:40~9:40	6	海外招待1 (Video Lecture)	Community-based Inclusive Development in Rehabilitation Practice	Zaliha Binti Omar	○	13	-
9:50~10:50	6	海外招待2	米国リハビリテーション医学の教育	長尾 正人	○	14-5, 13	-
11:00~12:00	6	海外招待3 (Video Lecture)	Advances in Aging and Sarcopenia Research	Walter R. Frontera	○	13, Re	○
17:20~18:20	6	海外招待6 (Video Lecture)	Pulmonary Rehabilitation in Spinal Cord Injury	Seong -Woong Kang	○	13	-

時間	会場	種別	演題名	演者	リハ 単位	日整会 単位	運動器 単位
8:40~9:40	7	教育15	がん患者の運動器診療というニューフロンティア—リハビリテーション医に知ってほしい「がんロコモ」—	河野 博隆	○	5, 13, Re	○
12:10~13:10	7	ランチョン6	脳卒中片麻痺の日常生活活動に使える装着型随意運動介助電気刺激装置	三上 靖夫	○	13, Re	○
15:00~16:00	7	教育16	脊髄損傷に起因する排泄障害への対応	横山 修	○	7, SS	○
16:10~17:10	7	教育17	脊髄損傷に対するリハビリテーション医療	吉永 勝訓	○	7, SS	○
17:20~18:20	7	教育18	脊髄小脳変性症のニューロリハビリテーション治療	宮井 一郎	○	8, Re	○
8:40~9:40	8	教育19	障がい者スポーツ競技における暑熱対策：和歌山県立医科大学の取り組み	上條義一郎	○	2, 13, S	○
9:50~10:50	8	海外招待7 (Video Lecture)	Current Neuromotor Concepts to Reduce 1st & 2nd ACL Young Active Athletes	Timothy E. Hewett	○	13, Re	○
11:00~12:00	8	海外招待8 (Video Lecture)	Application of FES in SCI for Therapy and Sport	Brian James Andrews	○	13, Re	○
12:10~13:10	8	ランチョン7	ReoGo-Jを用いた上肢機能障害のリハビリテーション治療	内山 侑紀	○	13, Re	○
8:40~9:40	11	専門職教育1	半側空間無視の病態メカニズムに基づいたリハビリテーション医療	森岡 周	○	13, 1	-
9:50~10:50	11	専門職教育2	脳卒中後片麻痺患者の歩行速度	大畑 光司	○	13, Re	○
12:10~13:10	11	ランチョン8	知能増幅器としての歩行分析	長谷 公隆	○	13, Re	○

## 【8月20日（木）】

時間	会場	種別	演題名	演者	リハ 単位	日整会 単位	運動器 単位
8:30~9:30	1	特別6	重複障害に対するリハビリテーション医学・医療	上月 正博	○	13	-
9:40~10:40	1	特別7	関節リウマチのリハビリテーション医療のこれまでとこれから	佐浦 隆一	○	6, 12, R	○
10:50~11:50	1	特別8	リハビリテーション医療における移動のための義肢装具とAssistive Device	芳賀 信彦	○	13, Re	○
12:05~13:05	1	ランチョン9	とろみ自動調理サーバー導入の利点—業務量軽減と衛生管理—	柴田 斉子	○	13	-
14:30~15:30	1	特別9	障がい者の病態生理解明と活動性改善に寄与するリハビリテーション医学基礎研究	田島 文博	○	1, 13, Re	○
15:40~16:40	1	特別10	柔道とリハビリテーション医学・医療—転倒予防から五輪まで—	三上 靖夫	○	2, 13, S	-
16:50~17:50	1	特別11	がんのリハビリテーション診療 エビデンス & プラクティス—放射線・化学療法中・後の対応を中心に—	辻 哲也	○	5, 13, Re	○
8:30~9:30	2	特別12	高齢者脊柱変形の安全安心な治療を目指して—筋力、歩行能力評価も踏まえたリハビリテーション治療と疼痛ケアの重要性—	松山 幸弘	○	7, 1, Re	○
9:40~10:40	2	教育20	地域包括ケアシステムの現状と将来像—リハビリテーション専門職の関わり方—	川手 信行	○	13	-
10:50~11:50	2	教育21	訪問リハビリテーションについて	石川 誠	○	13	-
12:05~13:05	2	ランチョン10	脳卒中片麻痺に対する電気刺激療法の治療戦略	松元 秀次	○	13, Re	○
14:30~15:30	2	特別13	高頻度末梢神経磁気刺激装置によるリハビリテーション治療と新しい刺激装置の開発	出江 紳一	○	13, 1, Re	○
8:30~9:30	3	教育22	医療安全の基本的な考え方—最近の動向を踏まえて	大川 淳	○	14-1, Re	○
9:40~10:40	3	教育23	悪性骨腫瘍の治療とリハビリテーション医療	尾崎 敏文	○	5, 13, Re	○
10:50~11:50	3	教育24	肩関節周囲炎・腱板断裂の病態と治療	内山 善康	○	9, 2, Re	○

時間	会場	種別	演題名	演者	リハ 単位	日整会 単位	運動器 単位
12:05~13:05	3	ランチョン11	関節リウマチにおける骨関節破壊機序とその対策	蛭名 耕介	○	6, 13, R	○
13:20~14:20	3	海外招待9 (Video Lecture)	Application of Engineering Technology in NeuroRehabilitation	Nam-Jong Paik	○	13	-
14:30~15:30	3	教育25	運動器疾患の最新画像解析がもたらすベンチャーとその未来	菅本 一臣	○	1, 13, Re	○
15:40~16:40	3	教育26	小児期における運動器疾患・障害の実態と克服に向けた方策	内尾 祐司	○	3, 13, Re	○
16:50~17:50	3	教育27	足部再建手術とリハビリテーション治療	仁木 久照	○	12, 13, Re	○
8:30~9:30	4	教育28	TKA患者のリハビリテーション治療と生活動作	三浦 裕正	○	12, 13, Re	○
9:40~10:40	4	教育29	変形性膝関節症に対する保存療法 —運動療法・装具療法を中心に—	松田 秀一	○	12, 13, Re	○
10:50~11:50	4	教育30	人工股関節全置換術患者に対するリハビリテーション医療	山本 謙吾	○	11, 13, Re	○
12:05~13:05	4	ランチョン12 (予定)	リハビリテーション診療における漢方治療	山崎 武俊	○	-	-
14:30~15:30	4	教育31	経頭蓋直流電気刺激のリハビリテーション治療への応用	佐伯 覚	○	13, Re	○
15:40~16:40	4	教育32	予防リハビリテーションにおける口腔機能の役割	小林 琢也	○	13	-
16:50~17:50	4	教育33	促通反復療法が目指す「患者に優しい」治療への展開：より効果的(効果/治療時間)な基盤的治療へ	川平 和美	○	13, Re	○
8:30~9:30	5	教育34	関節リウマチのリハビリテーション治療と装具治療	酒井 良忠	○	6, R	○
12:05~13:05	5	ランチョン13	脳卒中患者の姿勢制御障害と歩行	吉尾 雅春	○	13, Re	○
14:30~15:30	5	教育35	発達障害のリハビリテーション医療	角田 亘	○	13	-
8:30~9:30	6	海外招待10 (Video Lecture)	Update in Stroke Rehabilitation	Fary Khan	○	13	-
13:20~14:20	6	海外招待11 (Video Lecture)	Why Physician Leadership Matters in Rehabilitation	Gerard E. Francisco	○	13	-
16:50~17:50	6	海外招待12 (Video Lecture)	New Challenges and Aging issues of Spinal Cord Injuries —New Zealand & Global Perspective	Xianghu (Shaun) Xiong	○	13, Re	○
8:30~9:30	7	教育36	回復期リハビリテーション病棟での摂食嚥下障害に対する治療戦略	柴田 斉子	○	13	-
12:05~13:05	7	ランチョン14	難治性疼痛の病態 —神経障害性疼痛を中心に—	牛田 享宏	○	13, Re	○
13:20~14:20	7	海外招待13 (Video Lecture)	Eccentric Training in Ambulatory Rehabilitation Program of Patients with Chronic Heart Failure : A Pilot Study	Petr Dobsak	○	13	-
14:30~15:30	7	教育37	パーキンソン病のリハビリテーション治療	中馬 孝容	○	8, Re	○
8:30~9:30	8	教育38	大規模災害リハビリテーション支援関連団体 (JRAT) の体制とリハビリテーション医療支援の実際	近藤 国嗣	○	13	-
12:05~13:05	8	ランチョン15	多機能型随意運動介助電気刺激装置：IVES <sup>R</sup>	村岡 慶裕	○	13, Re	○
8:30~9:30	11	専門職教育3	脳卒中後の上肢機能に対するインテンシブアプローチ	竹林 崇	○	13, Re	○
9:40~10:40	11	専門職教育4	最近の義足の動向	野坂 利也	○	13, Re	○
10:50~11:50	11	専門職教育5	発達性協調運動症の特徴とリハビリテーション治療	岩永竜一郎	○	13	-
12:05~13:05	11	ランチョン16	思春期特発性側弯症の診断と治療	高橋 淳	○	7, SS	○
8:30~9:30	12	教育39	急性期リハビリテーション治療の効果とリスク管理	中村 健	○	13, Re	○
12:05~13:05	12	ランチョン17	脳卒中片麻痺に対する促通反復療法とロボットリハビリテーション	下堂蘭 恵	○	13, Re	○

【8月21日（金）】

時間	会場	種別	演題名	演者	リハ 単位	日整会 単位	運動器 単位
8:30～9:30	1	特別14	リハビリテーション医療におけるVirtual Reality／Augmented Realityの応用	道免 和久	○	13	-
9:40～10:40	1	特別15	運動器スポーツ傷害に対するリハビリテーション医療	津田 英一	○	2, 13, Re	○
10:50～11:50	1	特別16	「予防リハビリテーション」の重要性	武久 洋三	○	13	-
12:05～13:05	1	ランチョン18	すぐ使える神経筋電気刺激装置：下肢のFESの有効性と臨床応用	松元 秀次	○	13, Re	○
			すぐ使える神経筋電気刺激装置：上肢運動障害に対する神経筋電気刺激の実際	竹林 崇			
13:20～14:20	1	特別17	医療関係者が知っておきたいロコモを取り巻く新たな話題とロコモ対策の必要性	帖佐 悦男	○	8, 13, Re	○
14:30～15:30	1	特別18	義肢装具の展望	浅見 豊子	○	13, Re	○
15:40～16:40	1	特別19	ニューロリハビリテーション医学の最新知見	近藤 和泉	○	13	-
16:50～17:50	1	特別20	摂食嚥下障害に対する末梢からの電気・磁気刺激療法	加賀谷 斉	○	13	-
8:30～9:30	2	特別21	術後早期回復とリハビリテーション医療のためのマルチモーダル鎮痛	新山 幸俊	○	1	-
9:40～10:40	2	教育40	難治性慢性疼痛患者のリハビリテーション治療	矢吹 省司	○	13, 1, Re	○
10:50～11:50	2	教育41	慢性疼痛患者に対するリハビリテーション医療	木村 慎二	○	13, 1	-
13:20～14:20	2	教育42	リハビリテーション医学における臨床神経生理学	正門 由久	○	1, 13	-
14:30～15:30	2	教育43	物理療法を用いた疼痛へのアプローチ	美津島 隆	○	13, 1	-
15:40～16:40	2	教育44	日本理学療法士協会分科学会の法人化	半田 一登	○	13	-
16:50～17:50	2	教育45	作業療法の最新のトピックス	中村 春基	○	13	-
8:30～9:30	3	教育46	小児期下肢運動器疾患・障害における病態解明や治療の進歩	和田 郁雄	○	3, 13, Re	○
9:40～10:40	3	教育47	コンピュータを用いたバイオメカニクスの基礎と運動器疾患への応用	津村 弘	○	12, 1, Re	○
10:50～11:50	3	教育48	Lumbo-pelvic RhythmからみたHip Spine Syndromeについて—三次元動作解析による 腰椎骨盤リズムの解明—	緒方 直史	○	7, 11, SS	○
13:20～14:20	3	教育49	骨粗鬆症を基盤とする脆弱性骨折対策：健康寿命延伸の根幹	遠藤 直人	○	4, 2, Re	○
14:30～15:30	3	教育50	関節リウマチ治療の進歩—リハビリテーション治療の役割—	高木 理彰	○	6, 11, R	○
15:40～16:40	3	教育51	肩関節変性疾患に対するリハビリテーション治療	谷口 昇	○	9, 13, Re	○
16:50～17:50	3	教育52	心臓リハビリテーションは脳卒中・がん治療にも貢献する—新たな領域に向けて—	牧田 茂	○	13	-
10:50～11:50	4	教育53	骨粗鬆症性椎体骨折の診断と治療最前線	中村 博亮	○	4, 7, SS	○
12:05～13:05	4	ランチョン19	パーキンソン病の運動・リハビリテーション治療	市川 忠	○	13, 8, Re	○
14:30～15:30	4	教育54	認知症に対するリハビリテーション医療	前島伸一郎	○	13	-
8:30～9:30	5	教育55	脳卒中患者に対する回復期リハビリテーション医療の役割	園田 茂	○	13, Re	○
12:05～13:05	5	ランチョン20	トレッドミル型摂動装置を用いた転倒予防訓練	松瀬 博夫	○	13, Re	○
13:20～14:20	5	教育56	高次脳機能障害の診断と支援	生駒 一憲	○	13	-
14:30～15:30	5	教育57	脳卒中早期リハビリテーション治療	高橋 秀寿	○	13, Re	○
15:40～16:40	5	教育58	外傷性脳損傷に対するリハビリテーション医療	原 寛美	○	13	-
16:50～17:50	5	教育59	脊髄電気刺激を用いたリハビリテーション治療	藤原 俊之	○	13, Re	○
8:30～9:30	6	教育60	関節軟骨の再生医療とリハビリテーション治療	木村 浩彰	○	1, 13, Re	○

時間	会場	種別	演題名	演者	リハ 単位	日整会 単位	運動器 単位
9:40~10:40	6	教育61	廃用性筋力低下・筋萎縮の病態、予防と治療 —サルコペニア、ICU-AWとの違い—	猪飼 哲夫	○	13, Re	○
10:50~11:50	6	教育62	関節拘縮の発生メカニズム	沖田 実	○	1, 13	○
13:20~14:20	6	教育63	知っておきたい痙縮治療～総論から最新の知見まで	松元 秀次	○	13, 1, Re	○
14:30~15:30	6	教育64	歩行分析の臨床応用	長谷 公隆	○	1, 13, Re	○
15:40~16:40	6	教育65	神経筋疾患の生活期リハビリテーション医療	和田 直樹	○	8, 13	-
16:50~17:50	6	教育66	リハビリテーション医学の臨床研究 —観察研究とモデル化—	小山 哲男	○	1	-
8:30~9:30	7	教育67	骨卒中の現状と対策～最新の骨粗鬆症治療とは何か?～	萩野 浩	○	4	○
9:40~10:40	7	教育68	認知症を合併する高齢者の運動器リハビリテーションの留意点	大井 直往	○	13, Re	○
10:50~11:50	7	教育69	排尿障害のリハビリテーション医療	山西 友典	○	13	-
12:05~13:05	7	ランチョン21	慢性痛はリハビリテーション医学・医療の対象である	矢吹 省司	○	13, Re	○
13:20~14:20	7	教育70	シナジー解析を基にした運動制御	小池 康晴	○	1	-
14:30~15:30	7	教育71 (第6回リハビリテーション 先端機器研究会)	ソフトロボットとリハビリテーション医療	鈴森 康一	○	1, 13	-
15:40~16:40	7	教育72 (第6回リハビリテーション 先端機器研究会)	ロボットによるリハビリテーション医療の課題	大日方五郎	○	1, 13	-
12:05~13:05	8	ランチョン22	地域における心疾患患者の集団スポーツ運動療法を考える —ドイツの実践例を参考に—	牧田 茂	○	13	-
13:20~14:20	8	教育73	あるべき未来の四肢切断に対するリハビリテーション医療	陳 隆明	○	13, Re	○
8:30~9:30	11	専門職教育6	呼吸リハビリテーション治療最前線	神津 玲	○	13	-
9:40~10:40	11	専門職教育7	ADOCを用いた目標設定の実際	友利幸之介	○	13	-
10:50~11:50	11	専門職教育8	高齢者のリハビリテーション治療に必要な循環器系リスク管理の知識と実際	高橋 哲也	○	13	-
12:05~13:05	11	ランチョン23	痙縮の軽減で終わらせないリハビリテーション治療	佐々木信幸	○	13, Re	○
8:30~9:30	12	専門職教育9	プロ野球投手にみられる肩関節障害の運動器超音波評価	林 典雄	○	13, 9, S	○
12:05~13:05	12	ランチョン24	睡眠が身体パフォーマンスに与える影響について～トップアスリートへの取り組み～	高岡 本州	○	-	-

## 【8月22日（土）】

時間	会場	種別	演題名	演者	リハ 単位	日整会 単位	運動器 単位
8:00~9:00	1	特別22	脊髄障害の病態とリハビリテーション治療	加藤 真介	○	7, SS	○
10:20~11:20	1	特別23	脳卒中の新たなリハビリテーション治療	下堂 蘭 恵	○	13, Re	○
11:35~12:35	1	ランチョン25	AKITA FES PROJECTにおける機能的電気刺激の歴史と将来展望	島田 洋一	○	13, 1, Re	○
12:45~13:45	1	特別24	生活期のリハビリテーション医療の役割	水間 正澄	○	13	-
15:05~16:05	1	特別25	高次脳機能障害のリハビリテーション治療～患者家族会との連携～	渡邊 修	○	13	-
8:00~9:00	2	特別26	障がい者スポーツにおけるリハビリテーション医の役割	西村 行秀	○	2, 13, S	○
9:10~10:10	2	特別27	医療安全のための病院における転倒対策	大高 洋平	○	14-1, Re	○
10:20~11:20	2	教育74	脳卒中後の上下肢痙縮に対するボツリヌス療法再考～この10年を振り返って～	大田 哲生	○	13, Re	○

時間	会場	種別	演題名	演者	リハ 単位	日整会 単位	運動器 単位
11:35~12:35	2	ランチョン26	脳血管障害患者への運動療法とたんばく質摂取の併用効果	田島 文博	○	13, 1, Re	○
12:45~13:45	2	教育75	障がい者スポーツアスリートのアスレチックリハビリテーション治療	青木 隆明	○	2, 13, S	○
8:00~9:00	3	教育76	創外固定とリハビリテーション治療	土屋 弘行	○	2, 13, Re	○
9:10~10:10	3	教育77	高齢者脊椎疾患の脊椎外科的マネージメント	種市 洋	○	7, SS	○
10:20~11:20	3	教育78	新しい腰痛治療：椎間板再生医療の現況	渡辺 雅彦	○	7, 1, SS	○
11:35~12:35	3	ランチョン27	二次骨折予防と骨折リエンササービス	山本 智章	○	4, 13, Re	○
12:45~13:45	3	教育79	腰椎椎間板ヘルニアの最新知見	波呂 浩孝	○	7, SS	○
13:55~14:55	3	教育80	脊椎感染症の治療とリハビリテーション医療	永島 英樹	○	7, 6, SS	○
11:35~12:35	4	ランチョン28	関節リウマチ治療の考え方とトータルマネージメントの実際	松下 功	○	6, 13, R	○
12:45~13:45	4	教育81	周術期のリハビリテーション医療	千田 益生	○	13, Re	○
8:00~9:00	5	教育82	がんの複合障害 がん治療医がリハビリテーション医学・医療に求めるもの	城戸 顕	○	5, Re	○
11:35~12:35	5	ランチョン29	ターニングポイントでみる脳卒中回復期の下肢装具療法	沢田光思郎	○	13, Re	○
12:45~13:45	5	教育83	誤嚥性肺炎に対するリハビリテーション医学・医療	海老原 覚	○	13	-
8:00~9:00	6	教育84	音楽療法とリハビリテーション治療～最近の知見～	笠井 史人	○	13	-
9:10~10:10	6	教育85	腎臓リハビリテーション診療の進歩	伊藤 修	○	13	-
10:20~11:20	6	教育86	最新の骨粗鬆症治療戦略	須藤 啓広	○	4, 13, Re	○
11:35~12:35	8	ランチョン30	VRを装備したトレッドミルGRAIL —高齢者のリハビリテーション医療への展開—	近藤 和泉	○	13, Re	○
8:00~9:00	11-12	規定講習会 (医療安全)	医療安全と診療ガイドライン	宮越 浩一	○	14-1	-
9:10~10:10	11-12	規定講習会 (医療倫理)	臨床倫理：基本と臨床実践	藤島 一郎	○	14-3	-
10:20~11:20	11-12	規定講習会 (感染対策)	医療現場における感染対策の基本	水落 和也	○	14-2	-
12:45~13:45	11-12	指導医講習会1	三次元歩行分析によるリハビリテーション効果の理解と臨床における意思決定への活用	向野 雅彦	○	13	-
13:55~14:55	11-12	指導医講習会2	運動器疾患とリハビリテーション医療	津田 英一	○	13	○
8:00~9:00	13	専門医・認定臨床 医生涯教育研修会	専門医・認定医として知っておくべき摂食嚥下リハビリテーションの基本	平岡 崇	○	13	-
9:10~10:10	13	専門医・認定臨床 医生涯教育研修会	脳性麻痺に対するリハビリテーション医療	朝貝 芳美	○	13, 8, Re	○
10:20~11:20	13	専門医・認定臨床 医生涯教育研修会	失語症の診断、評価とリハビリテーション医療	大沢 愛子	○	13	-